

外観



桃山学院大学は1959年に開学し、54年の歴史を誇る社会科学系の総合大学。現在は5学部6学科、4大学院研究科があり、学生数約7000名を擁する。

キャンパス全体



学生の利用頻度が高い、聖マーガレット館・1号館・2号館のトイレ改修を行った。

聖マーガレット館 女性トイレ 大便器ブース



事前の学生アンケートで、最も要望が多かった大便器の洋式化を実現し、すべての大便器にウォシュレットを設置。環境に配慮して、5.5L洗浄のパブリックコンパクト便器を採用している。

聖マーガレット館 女性トイレ パウダールーム



コミュニケーションの場としても使えるように、中央に赤いソファを設置。壁には身だしなみがチェックできる大小さまざまな鏡を取り付け、大学の象徴であるチャペルの写真なども飾られている。

聖マーガレット館 女性トイレ 入口



曲面の壁の左側がトイレルーム、右側がパウダールームの入口となっている。

聖マーガレット館 女性トイレ 入口



オープンキャンパスで訪れた方々に、キレイになったトイレをPRするため、職員が手作りのポスターをトイレ入口に掲示している。

聖マーガレット館 女性トイレ パウダールーム



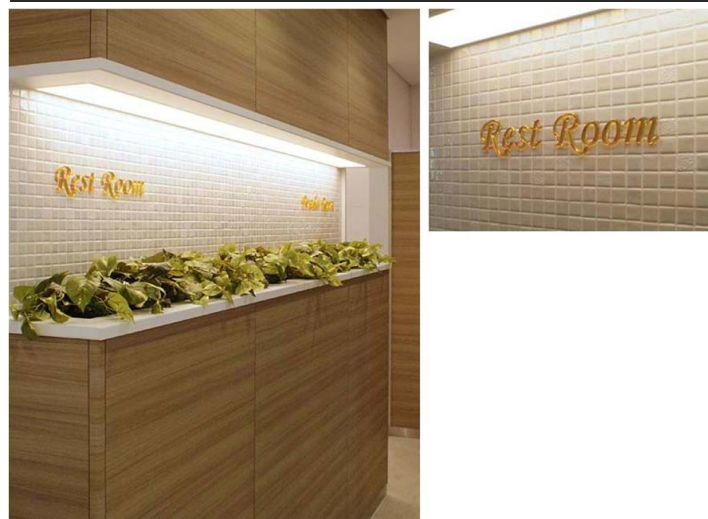
隣の人の視線が気にならないように個別鏡を採用。荷物配慮として2段式の棚を設置し、棚の下にフックも取り付けている。

聖マーガレット館 女性トイレ パウダールーム



お化粧直しの後に手洗いができるように手洗器を設置。横には手洗い後の床への水垂れを抑えるため、クリーンドライを設置している。

聖マーガレット館 女性トイレ 入口



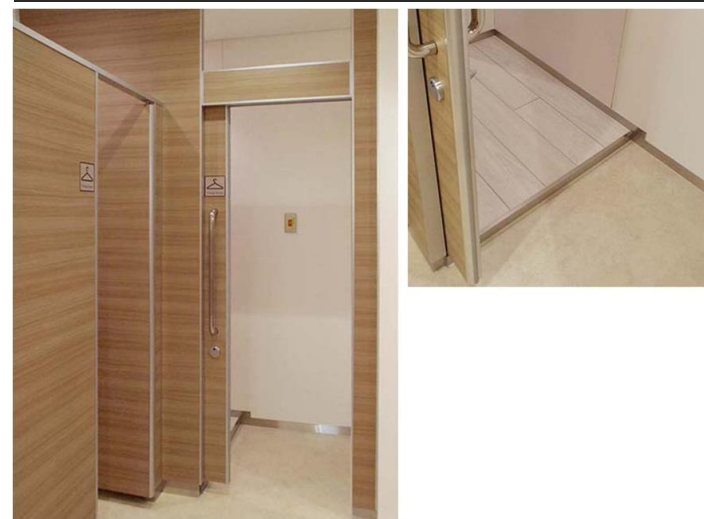
ゴールドのサインは、今回のトイレ改修にあわせて作成したオリジナルのデザイン。

聖マーガレット館 女性トイレ 洗面コーナー



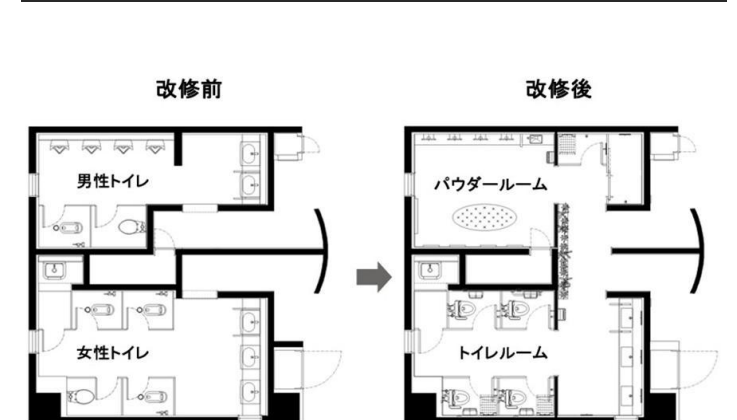
洗面コーナーは、水濡れを心配せずに靴や化粧ポーチなどを置くことができるように、ツインデッキカウンターを採用。

聖マーガレット館 女性トイレ フィットニング



パウダールームには、就職活動中や部活動の際、着替えができるように、フィッティングルームを2ヶ所設置している。

聖マーガレット館 トイレ図面



男性トイレをなくして、女性専用のパウダールームを新設。

1号館 女性トイレ パウダーコーナー



聖マーガレット館のパウダールームと同様に、隣の人の視線が気にならないように個別鏡を採用。荷物配慮として、2段式の棚とフックを用意している。

1号館 多機能トイレ



車いすから大便器に移乗しやすいように、L型手すりとはね上げ手すりを設置。座位の安定をサポートする背もたれも完備している。

2号館 男性トイレ 小便器コーナー



床の清掃性や節水性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用。小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロテクトタイルを設置している。

2号館 男性トイレ 大便器ブース



男性トイレの大便器ブースの1ヶ所にも、着替えができるフィッティングボードを設置している。

1号館 トイレ図面



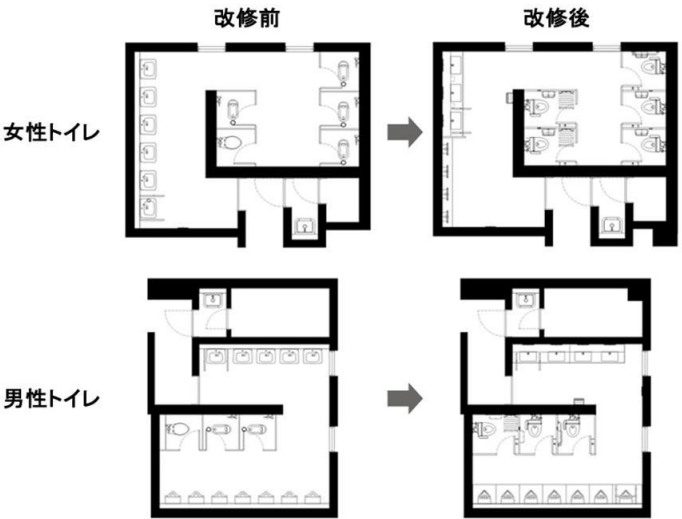
女性トイレのスペースを広くするため、男女トイレの位置を入れ替え。女性トイレにはパウダースペースを確保した。

2号館 女性トイレ 洗面コーナー



洗面器を3ヶ所に減らし、そのスペースを活用してパウダーコーナーを新設。洗面器の水栓金具は、水じまいがよく節水効果も図れる壁付きの自動水栓を設置している。

2号館 トイレ図面



すべて洋式便器に変更し、女性トイレにはパウダーコーナーを新設。

改修前



ほとんどが和式便器で、洋式便器を望む声が多かった。

2号館 女性トイレ 大便器ブース



衛生面に配慮して大便器はセンサー式洗浄タイプを採用し、汚物入れもペダル式を設置。大便器ブースの2ヶ所には、着替えができるフィッティングボードを完備している。

2号館 男性トイレ 洗面コーナー



女性トイレと同様、水濡れを心配せずに荷物を置くことができるツインデッキカウンターを採用。身だしなみをチェックできるように、全身鏡を設置している。

建築概要

名 称	桃山学院大学
所 在 地	大阪府和泉市まなび野1番1号
施 主	学校法人桃山学院
設 計	TOTOアクアエンジニア株式会社
施 工	TOTOアクアエンジニア株式会社
竣 工 年 月	<聖マーガレット館>2013年8月 <1・2号館>2013年9月

水まわりの特長

<改修の経緯>

桃山学院大学では、大学に対するイメージや満足度を高めることを目的に「魅力ある和泉キャンパス創り」を推進しており、その一環としてトイレ改修を計画。プランニングに当たっては、若手女性職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、女子学生のニーズなどの調査結果を反映させた。

<トイレの特長>

環境に配慮した器具選定を行い、大便器は5.5L洗浄のパブリックコンパクト便器、小便器は自動洗浄小便器、洗面器の水栓金具はノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を採用。文部科学省が進めている「エコキャンパス推進事業」への申請も2013年に行っている。

<改修後の声>

学生からは、「とても明るくおしゃれになった」「フィッティングルームは就職活動や部活動の着替えに便利」「パウダールームはピンクのタイルや赤いソファ、アンティーク風の鏡がかわいい」「荷物を掛けるフックや棚が便利」「手をかざしたら流れるトイレやペダル付きのチャームボックス、クリーンドライなど衛生的」など、喜びの声が上がっている。